

中田

ふるさとスポーツ中田大会



▲どのチームも優勝目指して熱戦を繰り広げました

バレーボールで熱い戦い

ふるさとスポーツ祭中田町域大会が6月29日、中田総合体育館で開催されました。大会は、ソフトボールとビニールバレーボールの2種目を予定していましたが、あいにくの雨でバレーボールのみを実施。試合は、地区大会を勝ち抜いた6チームで行われ、熱戦の結果、神ノ木行政区が優勝し2連覇を達成しました。同行政区に加藤正明監督は、「バレーボール未経験者が多いチームですが、みんな一生懸命頑張りました。市大会でも連覇し、今年も県大会に行けるよう頑張ります」と話していました。

迫

迫総合支所に感謝状が贈呈



▲本木佐沼警察署長(右)から高橋支所長へ感謝状が贈られました

死亡事故ゼロ1年を達成

迫地区では6月13日、交通死亡事故ゼロ連続1年間を達成。佐沼警察署長から感謝状が贈られました。6月16日に市役所迫庁舎で開かれた贈呈式では、佐沼警察署の本木利信署長から高橋充迫総合支所長へ感謝状が手渡されました。迫町内では、昨年の6月13日に自転車と自動車と衝突、自転車に乗っていた女性が死亡して以来、交通死亡事故が発生していませんでした。感謝状を受け取った高橋支所長は「この記録を1日1日と伸ばし、次は2年を目指してさらに頑張っていきたい」と、決意を新たにしました。

「いかのおすし」で一人前

豊里幼稚園(佐々木裕見子園長)では7月16日、豊里駐在所と登米警察署の協力により、「不審者対応訓練」を園内の遊戯室で実施しました。近年、子どもたちが被害に遭う痛ましい事件が増加しています。訓練では、防犯標語「いかのおすし一人前」など犯罪を未然に防ぐ方法を教わりました。警察署員が大きな5枚のパネルを使用し、園児に分かりやすく説明しました。園児たちは「知らない人にはついていかない」「怖い人が来たら先生に教える」など大きな声で復唱し真剣に話を聞いていました。

豊里幼稚園で犯罪防止訓練

豊里



▲大きなパネルで犯罪を未然に防ぐ方法を教わりました

日常生活にもっと運動を

登米地区保健活動推進員と食生活改善推進員の合同研修会が7月1日、登米総合体育館で開かれました。市では、健康づくり事業の一環として、手軽にできるウォーキングを日常生活に取り入れるように勧められています。研修会では、「暮らしの中にもっと運動を！(あと1000歩増やそう)」と題し、スポーツクラブパティオの千葉昌代さんを講師に、ウォーキングの基本を学びました。参加者は、ノルディックウォーキングポールを使い、ストレッチやウォーキングで良い汗をかきました。

健康づくり合同研修会

登米



▲背筋を伸ばして、視線は前に。たくさんの良い汗をかきました

米山

米山東幼稚園でカレーパーティー



▲高校生のお姉さんと一緒に野菜を切る園児たち

おいしいイチゴのお礼に

米山東幼稚園(佐藤美子園長)では7月11日、米山高枝農業クラブの生徒を同園に招いてカレーライスパーティーを開きました。パーティーは、今回で4回目。同高生徒が栽培したイチゴを、園児にごちそうしたのが交流のきっかけとなりました。材料の野菜は全て園児と生徒が栽培収穫したもの。年長組の園児は、高校生のお姉さんと一緒に包丁を使って材料を切りました。カレーを煮込む時はみんなで「おいしくなあれ」のおまじない。園庭ではお兄さんと鬼ごっこなどで体を動かし、出来たカレーをいっぱい食べていました。

東和

東京みやぎ東和会で総会



▲懇親会で米川音頭を合唱する皆さん

ふるさと東和を懐かしむ

東京みやぎ東和会(源仁壽会長)の総会が6月7日、東京都台東区のグリーンパークで開催されました。当日は、会員ら約80人が参加。静岡県などから参加した人もいて、ふるさとの思い出話を花を咲かせていました。総会終了後の懇親会は、カラオケや抽選会で大いに盛り上がりました。東和町からの出席者が、米川音頭を合唱すると、会員の皆さんは懐かしそうに聞き入っていました。参加した女性会員は「1年ぶりの再会を楽しみに今年も参加しました」と話していました。